

## ○ 学びと成長にあふれる、リオ日学！

### ① NIEで磨かれた文章力



毎週金曜日、中学生はNIE (Newspaper In Education) の宿題があります。教師が読売新聞記事(時事や中学生に相応しい内容)の要約と感想を書き、子どもは「記事・要約・感想」を読んだ後に、自分の意見を書師について月曜日に提出します。教師のコメントが書かれたものを掲示して、お互いに読み合います。

\*新聞記事は日本に住む校長の妻が中学生に合わせて選んで切り抜き、データを送信してもらいます。読売新聞リオ支局長大月様にもご案内しています。以下、これまで2年間の活動を通した中学生の感想です。

菜南子=NIEは自由に自分の考えが書けるから好きだ。あと、先生のコメントを毎回楽しみにしている。世界で起きていることや人の考え方を基に、自分の思考を広げてくれ、考えるきっかけにもなる。そして、先生や友達に自分を知らせてもらえる。自分の経験などを振り返って書く時はシャーペンが止まってくれない。

瑛人=NIEを通して書く力が上がった。何か感想を書く時、テーマを見たり記事を読んだだけですぐに、このように書こうと、頭の中で文章が構成されていく。NIEを長く続けたからだ。

慧人=NIEを通して考えが深まり、自然に自分の意見が持てるようになった。最近ニュースを見て、なぜ?という疑問が増え、自分で調べたり親に聞いたりする。そのことが楽しい。そして意見を言ったりするのはいろいろな視点を持つことが重要なので、被害者・加害者・他人など、その立場に立って考えてみることもできるようになった。そうしていくと、相手を思いやることもできるようになった。

### ② 割り箸書画の世界



中学生技家の授業で、割り箸書画に取り組みました。

秋田県を拠点に活動されている齊藤光子さんは、東日本大震災復興に割り箸書画を通して、被災された方々の心を癒し、表現することが自己開示となって、頑張ってみようという気持ちになります。

齊藤さんは私たちの作品について評してくださり、アドラー心理学の発表にも活用し、

分析結果を伝えてくださいます。

今回は、新しい1年に託す想いを言葉にして、割り箸書画で表現してみました。「努力の分だけ花が咲く」=受験のための色濃い努力によって乗り越えた先の花を見たい。「夢なき者に成功なし」=夢を大きく、成功につなげ、これを念頭に生活する。「明日はやがて今日になる」=「また明日と後回しにすることが、明日もやらないことになる」との父の言葉は受験を終えてその通りだと思った。今日を変えないと明日は来ない、この言葉を胸に、今日の自分を変えていきたい。

4月からの生活が楽しみになってきました。

### ③ 環境は私たちが守ります！



総合的な学習の時間に、ブラジル・アマゾン

の保全について学び、各家庭で私たちが実践できることを実践して、その発表会を行いました。エアコンを使わず保冷剤で頭を冷やしてみたり、シャワーの出っぱなしをしない、植物を窓際で育てた、紙の無駄遣いをせず裏紙を使うなど、意欲的な活動を話してくれました。

仲間たちの活動から学ぶことがいっぱいありました。

### ④ プログラミングの世界を紹介



3月12日(水)、

お弁当の時間に、体育館で「プログラミング発表会」を開催しました。小学部6年生の下田奏凜さん・中野成寛さんが、授業で組み立てたプログラミングソフトを紹介してくれました。ペンギンが氷山を飛び越えるゲーム、ピッチャーとバッターのゲームなど、工夫が先端を凝らして発表してくれました。

### ⑤ 教室から笑顔がいっぱい



3年生算数の仕上げに「そろばん」を勉強します。学習の基本である「読み書き計算」の原点を知ることから発展的な学習へ結びつ

2年生の国語は、物語の感想について他者からの意見を聞くことが身に付きます。サンホセ日本文学学校とオンライン学習により、意見交換をしてみました。考え方が深ま

小学部4年生以上英語の時間に、ニュース活動をしながら中澤利彦さんが学校訪問で参加し、英語の自己紹介とダンスパフォーマンスを披露してくださ

リオ日学は、学びと成長にあふれ、子どもたちが生き生きと学ぶ姿が楽しみです。